



日本麻酔科学会第55回学術集会

# 共催セミナー (L16)

## 周術期リスクと 低侵襲血行動態モニタのベネフィット： 外科と麻酔科それぞれの立場から

**座長** 稲垣 喜三 先生 (鳥取大学医学部麻酔・集中治療医学分野 教授)

**講演者** 志水 秀行 先生 (慶應義塾大学医学部 外科学 専任講師)

松永 明 先生 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科侵襲制御学分野 准教授)

**コメンテーター** 小竹 良文 先生 (東邦大学麻酔科学第一講座 准教授)

**日時** 2008年6月13日〔金〕 12:00 ~ 13:00

**会場** パシフィコ横浜 第2会場 (301号室)

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 Tel. 045-221-2155 (総合案内)

**講演内容** ハイリスク外科手術の周術期リスクを考慮しながら、適切な血行動態モニターを選択、およびフローと輸液の指標を客観的に評価するメリットについて、症例呈示を交えながら、外科、麻酔科双方の立場から議論します。

- 外科：
  - ・胸腹部大動脈手術周術期のリスクと管理のポイント
  - ・知りたい情報と麻酔科医への要望
- 麻酔科：
  - ・輸液・輸血などのvolume resuscitationについての解説
  - ・一回拍出量の呼吸性変動 (Stroke Volume Variation) の用い方
- 周術期管理における外科と麻酔科のコラボレーション

共催 | 社団法人日本麻酔科学会  
エドワーズライフサイエンス株式会社

\*当日は昼食をご用意いたしておりますが、先着順とさせていただきますのでご了承願います。



Edwards Lifesciences

エドワーズライフサイエンス株式会社

本社：東京都千代田区六番町2番地8 Tel.03-5213-5700 www.edwards.com/jp